

大草谷津田いきものの里自然観察会

冬のバードウォッチングを楽しもう！

藤井 佳代（千葉市）

日時：2026年1月18日（日）10：30～12：00 天候：快晴

参加者：3名（大人2名 子ども1名）

担当指導員：木下・相吉・藤井、参加指導員：井上、内島、岡田、奥村、山口

よく晴れて風もなく、絶好のバードウォッチング日和です。今回、参加者が少ないのは残念でしたが、多くの指導員が参加していただき、集合場所の駐車場で待っている間にもオスのジョウビタキ、カワラヒワ、ハクセキレイなどが現れて、期待いっぱいでした。

鳥の姿は見られなかったため、鳴き声に耳を傾けて園路を進みます。途中、カブトムシの幼虫の死骸や散らばったハトの羽を発見し、その犯人を推理したりしながら鳥を探しました。ヒヨドリやメジロ、シジュウカラ、コゲラの鳴き声が聞こえますが、なかなか姿は見られません。ようやくシジュウカラの姿を捉えることができました。越冬中の虫やキノコ、赤い実などを観察しながら田んぼの方へ向かいます。田んぼの手前で、下見でも見られたルリビタキのオスがエサを探している様子が見られました。なかなかじっとしてくれなくて大変でしたが、望遠鏡でも見ることができました。

田んぼでは湧水の温度を触って確かめたり、もうすぐカエルが卵を産みに来る話などをしました。野鳥のほうは、茂みから声は聞こえますがあまり姿が見られません。すると、猛禽が空を旋回するのを見発見！おそらくハイタカとのことでした。小鳥遊でタカナシとはよく言ったもので、鳥が見られないのにも合点がいきました。タカがいなくなつてからは、畦を歩くセグロセキレイなどを観察して、鳥合わせの時間です。鳴き声だけでも含めて22種の野鳥がいました。最後に環境ものさしでチェックしていると、メスのモズがすぐ近くに来てくれました。この環境を守っていきたく感じます。

参加者からは、双眼鏡で鳥が見れて楽しかった、身近にもまだ知らない鳥がいることがわかった、天気も良く田園風景の恵まれた環境を感じられてよかった、などの感想をいただきました。



ヤマギシモリノキモグリバエ？



ジョウビタキ オス



ルリビタキ オス



モズ メス



カブトムシの幼虫



湧水を触って水温を確認



望遠鏡や双眼鏡で観察